

研究課題番号	2-1701
研究課題名	温室効果ガスの吸排出量監視に向けた統合型観測解析システムの 確立
研究実施期間	平成 29 年度～令和元年度
累計予算額	145,921 千円
研究機関名	国立研究開発法人国立環境研究所
研究代表者名	三枝 信子

1. 評価者の指摘及び提言概要

本研究は、研究体制、研究計画などが十分に準備され、サブテーマごとの検討内容にも整合性が認められる。ボトムアップ手法とトップダウン手法の両方による解析によって炭素収支推定の高精度化が達成されたことは大きな成果であり、また温室効果ガス排出インベントリに関して家畜からの排出量が過小評価であることを示唆するなどの精度向上がなされたことと合わせて高く評価する。途中成果の行政当局への還元、パリ協定における温室効果ガス排出の許容量を決定する際の基礎資料としての貢献、IPCC 第 6 次評価報告書への貢献等が期待される。マスコミなどを介して積極的に PR すべき成果と思われる。

2. 評点

総合評点：S